



食品安全委員会とは

第316食品安全委員会議事概要

■第316回食品安全委員会会合

日時:平成22年1月14日(木)14:00～14:45

場所:食品安全委員会 大会議室

傍聴者数:13名

議事概要:

(1)遺伝子組換え食品等に係る食品健康影響評価に関する資料の提出について

・厚生労働省から説明。

・本件については、評価要請にあたり提出された資料に誤りがあったため、遺伝子組換え食品等専門調査会で審議することとなった。

(2)農薬専門調査会における審議結果について

1)「メトミノストロピン」に関する審議結果の報告と意見・情報の募集について

・担当委員である廣瀬委員及び事務局から説明。

・評価書(案)について、意見・情報の募集手続に入ることが了承された。

* 殺菌剤で、水稻に使用し、魚介類への残留基準値の設定が申請されています。ポジティブリスト制度導入に伴う残留基準(いわゆる暫定基準)が設定されています。

(3)動物用医薬品専門調査会における審議結果について

1)「クロルスロン」に関する審議結果の報告と意見・情報の募集について

・担当委員である見上委員及び事務局から説明。

・評価書(案)について、意見・情報の募集手続に入ることが了承された。

* 寄生虫駆除剤で、牛の肝蛭の成虫駆除に用いられます。

ポジティブリスト制度導入に伴う残留基準が設定されています。

2)「メベンダゾール」に関する審議結果の報告と意見・情報の募集について

・担当委員である見上委員及び事務局から説明。

・評価書(案)について、意見・情報の募集手続に入ることが了承された。

* 寄生虫駆除剤で、馬、羊、山羊等の消化管内の線虫駆除に用いられます。ポジティブリスト制度導入に伴う残留基準が設定されています。

(4)食品安全基本法第24条に基づく委員会の意見について

1)農薬「シエノピラフェン」に係る食品健康影響評価について

・「シエノピラフェンの一日摂取許容量(ADI)を0.05mg/kg体重/日と設定する。」との審議結果が了承され、リスク管理機関(厚生労働省)へ通知することとなった。

* 殺虫剤で、なす、りんご等に使用し、ネクタリン、ぶどう等への適用拡大申請がされています。

2)動物用医薬品「フルベンダゾール」に係る食品健康影響評価について

・「フルベンダゾールのADIを0.012mg/kg体重/日と設定する。」との審議結果が了承され、リスク管理機関(厚生労働省)へ通知することとなった。

* 寄生虫駆除剤で、馬回虫、牛肺虫、豚回虫等の駆除などに用いられます。ポジティブリスト制度導入に伴う残留基準が設定されています。